

工事・会計管理部 成果報告

工事・会計管理部長 山 本 浩 隆

部局達成度

			
—	4	—	—

総 括

計画的で効果的な行政運営を目指す中、職員の技術水準の向上と技術継承を図るため、新たに再構築した職員研修プログラムに基づいた研修や最新技術等の情報提供を行いました。また、コスト構造改善を推進し、適正な公共工事の執行及び品質確保のため、設計時における審査、施工中及び履行時における監察及び検査を行いました。さらに、適正な公金管理と出納に関する厳密な審査を行いました。

具体的には、コスト構造改善に関する内容に、新たに技術的な創意工夫の取組みを追加した技術研究発表会の開催や、各種の職員研修等を行いました。また、適正な施工体制の確保のため、工事監察パトロールを実施しました。さらに、適正な会計事務の執行を確保するため、会計事務についての研修等を実施し、職員の資質向上に努めました。

今後も、事務事業執行部門から独立したチェック機能を持つ部として、工事管理においては、適切な公共施設の建設・改修のため、設計から履行までの審査、監察及び検査を行います。また、会計管理においては、適正な会計事務処理の徹底を図っていきます。

組織目標ごとの達成状況

1. 適正で合理的な公共事業推進のため、技術研修センターにおいて建設系技術職員研修の充実を図り、技術的な指導・助言を行うとともに、審査、検査及び監察を通して公共工事の品質確保を推進します

建設系技術職員の人材育成については、職員研修プログラムに基づき、監督職員や主任監督職員研修及び測量実務や労働安全衛生に関する専門研修を開催するとともに、技術研修センター及びOB職員による技術継承研修を実施し、職員の意識改革と技術力向上を図りました。

コスト構造改善業務の推進については、今年度改定したコスト構造改善マネジメント指針に基づき、研修会や公共工事に関する最新の情報提供を通して、コスト構造改善の周知啓発を図ることができました。また、コスト構造改善をテーマとした技術研究発表会を実施し、職員の技術力及びプレゼンテーション能力の向上に取り組みました。

工事現場の適正な施工体制の確保については、パトロールを通じ監督職員及び受注者に対して指導、助言を行い、適正な施工体制を確保するよう促しました。

II．正確かつ迅速な収入及び支払いのため、会計事務について職員への周知を図ります

法令・規則に基づく収入・支払事務等が適正に行われるよう、会計事務研修会を開催し、職員の会計事務能力の向上を図りました。

また、会計実地検査における円滑な受検体制の確立では、課題研究プロジェクトチームにおいて会計実地検査事務処理要綱及び受検マニュアルを作成しました。

さらに、職員インフォメーションへの注意事項掲載や審査を通して、職員へ指導・助言を行うとともに、現金等保管状況調査・実地検査により、現金等の適正な取扱いを行いました。今後も、会計事務が適正に行われるよう、職員への周知徹底を図ります。

Ⅰ．適正で合理的な公共事業推進のため、技術研修センターにおいて建設系技術職員研修の充実を図り、技術的な指導・助言を行うとともに、審査、検査及び監察を通して公共工事の品質確保を推進します

1	建設系技術職員の人材育成	達成度	
実 行 内 容			
目 標	職員研修プログラムに基づき、建設系技術職員に求められる基礎技術や現場における指導力の向上を目指すため、監督職員や主任監督職員向けの研修、外部講師による専門研修を実施します。 また、最新技術等の情報提供や工事監察、完成検査及び会計実地検査などの結果を反映させる等、研修内容を充実させ、職員の意識改革と技術力向上を図ります。 さらに、技術の継承を着実に推進するとともに公共事業の円滑かつ適正な執行を支援するため、福井市技術研修センター職員による工事監督補助事業や、学識経験者等の専門家を現場に派遣する技術アドバイザー事業を実施します。		
取組内容	○新採用職員研修[前期](工事設計、施工管理) : 5月17日(参加者9名) ○検査職員研修(検査実務) : 6月30日(参加者24名) ○主任監督職員研修(苦情対応、入札・支払事務) : 8月23日(参加者33名) ○工事監督職員研修(設計・積算、施工管理、検査) : 8月9・10日(参加者72名) ○ソフト実務研修 : [積算]5月17日(参加者3名) 		

2	コスト構造改善業務の推進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	新たなコスト構造改善マネジメント指針に基づき、コスト縮減と品質確保の観点を維持するとともに、担い手確保やインフラ老朽化対策、建設現場の生産性向上を加えた施策の実施について、研修会等を通じて監督職員に周知・啓発を図ります。		
取 組 内 容	○コスト構造改善専門部会研修の開催 ・ 5月25日 第1回福井市工事コスト構造改善推進専門部会の開催（参加者19名） 平成28年度の実績報告及びコスト構造改善マネジメント指針の説明 ・ 10月26日 第2回福井市工事コスト構造改善推進専門部会の開催（参加者15名） 平成29年度の間報告及び第2回目研修 ・ 3月26日 第3回工事コスト構造改善推進専門部会の開催 平成29年度の実績報告及び第3回目研修		
	○国土交通省出前講座を活用した研修の開催 ・ 7月11日 公共事業コスト構造改善研修会（参加者50名） 講演 『これからの社会資本整備について』 講師 国土交通省 総合政策局 参事官（社会資本整備）付 課長補佐 山口隼人氏		
	○公共工事等技術研究発表会の開催 ・ 11月8日 公共工事等技術研究発表会 各所属のコスト構造改善等の技術的な創意工夫の取組事例発表 7事業課6事例発表（参加者73名）		
	○新技術、コスト構造改善に関する相談・指導 ・ 設計審査等（341件）		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
コスト構造改善専門部会研修の開催		：3回	
国土交通省出前講座を活用した研修の開催		：1回	
公共工事等技術研究発表会の開催		：1回	
新技術、コスト構造改善に関する相談、指導		：随時	
		：341件	
成 果 ・ 課 題	コスト構造改善専門部会研修を3回開催し、新たなコスト構造改善マネジメント指針の周知・啓発を図りました。 また、国土交通省の出前講座を活用した研修を開催し、これからの社会資本整備について、インフラのストック効果や老朽化対策など、国の施策の周知を図りました。 公共工事等技術研究発表会は、昨年度までの要綱を一部見直し、技術的な創意工夫をテーマに加えるなど、対象を拡大して開催しました。その結果、7事業課から6事例の発表があり、職員の技術力、プレゼンテーション力の向上に繋がりました。 今年度は、新たなコスト構造改善マネジメント指針に基づく取組みの1年目でしたが、職員の理解度を補うため、設計審査等において、新指針に基づいた技術的な指導を行いました。 今後も、コスト構造改善マネジメント指針に基づき、研修等により職員の理解が深まるよう、引き続き取り組みます。また、生産性の向上など、国や他自治体等の動向に準じた新たな施策展開ができるよう、技術職員に周知啓発を図っていきます。		

3	工事現場の適正な施工体制の確保	達成度																																									
実 行 内 容																																											
目 標	工事現場における技術者の適正配置、下請負等に関する各関連法規の遵守状況等を監察し、監督職員及び受注者に指導・助言を行うことにより、適正な施工体制の確保を図ります。 また、所属長意見交換会を開催するなど、監察による指摘件数の減少に取り組むとともに、監察結果を工事検査及び研修等において技術職員へ周知することにより監督職員の意識改革に努めます。																																										
取 組 内 容	○工事監察の実施																																										
	<table><tr><td></td><td>強化期間</td><td>実施日</td><td>監察件数(指摘)</td><td>指摘率 (%)</td></tr><tr><td>第 1 回</td><td>5/10～5/23</td><td>5/26.29</td><td>17 件 (5 件)</td><td>29.4</td></tr><tr><td>第 2 回</td><td>7/11～7/24</td><td>7/19.21</td><td>19 件 (4 件)</td><td>21.1</td></tr><tr><td>第 3 回</td><td>8/21～9/4</td><td>8/30.31 9/4</td><td>22 件 (3 件)</td><td>13.6</td></tr><tr><td>第 4 回</td><td>10/3～10/16</td><td>10/16.10/17</td><td>21 件 (5 件)</td><td>23.8</td></tr><tr><td>第 5 回</td><td>11/7～11/20</td><td>11/28.29.30</td><td>23 件 (3 件)</td><td>13.0</td></tr><tr><td>第 6 回</td><td>1/23～2/5</td><td>1/29.30</td><td>17 件 (2 件)</td><td>11.8</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td></td><td>119 件 (22 件)</td><td>18.5</td></tr></table>				強化期間	実施日	監察件数(指摘)	指摘率 (%)	第 1 回	5/10～5/23	5/26.29	17 件 (5 件)	29.4	第 2 回	7/11～7/24	7/19.21	19 件 (4 件)	21.1	第 3 回	8/21～9/4	8/30.31 9/4	22 件 (3 件)	13.6	第 4 回	10/3～10/16	10/16.10/17	21 件 (5 件)	23.8	第 5 回	11/7～11/20	11/28.29.30	23 件 (3 件)	13.0	第 6 回	1/23～2/5	1/29.30	17 件 (2 件)	11.8	合 計			119 件 (22 件)	18.5
		強化期間	実施日	監察件数(指摘)	指摘率 (%)																																						
	第 1 回	5/10～5/23	5/26.29	17 件 (5 件)	29.4																																						
	第 2 回	7/11～7/24	7/19.21	19 件 (4 件)	21.1																																						
	第 3 回	8/21～9/4	8/30.31 9/4	22 件 (3 件)	13.6																																						
	第 4 回	10/3～10/16	10/16.10/17	21 件 (5 件)	23.8																																						
	第 5 回	11/7～11/20	11/28.29.30	23 件 (3 件)	13.0																																						
	第 6 回	1/23～2/5	1/29.30	17 件 (2 件)	11.8																																						
	合 計			119 件 (22 件)	18.5																																						
〈工事監察指摘率 部局別〉																																											
<table><tr><td>課 名</td><td>指摘件数 (件) A</td><td>監察件数 (件) B</td><td>指摘率 (%) A/B</td></tr><tr><td>都市戦略部</td><td>2</td><td>10</td><td>20.0</td></tr><tr><td>農林水産部</td><td>1</td><td>7</td><td>14.3</td></tr><tr><td>建設部</td><td>8</td><td>46</td><td>17.4</td></tr><tr><td>下水道部</td><td>7</td><td>30</td><td>23.3</td></tr><tr><td>企業局</td><td>4</td><td>26</td><td>15.4</td></tr><tr><td>計</td><td>22</td><td>119</td><td>18.5</td></tr></table>			課 名	指摘件数 (件) A	監察件数 (件) B	指摘率 (%) A/B	都市戦略部	2	10	20.0	農林水産部	1	7	14.3	建設部	8	46	17.4	下水道部	7	30	23.3	企業局	4	26	15.4	計	22	119	18.5													
課 名	指摘件数 (件) A	監察件数 (件) B	指摘率 (%) A/B																																								
都市戦略部	2	10	20.0																																								
農林水産部	1	7	14.3																																								
建設部	8	46	17.4																																								
下水道部	7	30	23.3																																								
企業局	4	26	15.4																																								
計	22	119	18.5																																								
○所属長意見交換会（4月、10月）や監督職員研修（5月、8月、11月）を開催																																											
○監察結果や指摘事項に対する原因や対応策を技術インフォメーションに掲載（6回分）																																											
○適正な施工体制を確保するための工事監察実地研修（11月）																																											
数 値 指 標																																											
目 標		結 果 ・ 成 果																																									
工事監察実施回数： 6 回		工事監察実施回数： 6 回																																									
成 果 ・ 課 題	工事現場における適正な技術者の配置や下請負状況を確認する工事監察を年間 6 回実施することができました。また、監督職員等の立会を求め工事監察実地研修（11 月）を実施し、現地で適正な施工体制の確認を行ったことで効果的に監督職員等の意識改革ができました。 次年度は、適正な施工体制が十分理解できるよう工事監察実地研修を増やし、より能動的な工事監察を実施します。																																										

Ⅱ．正確かつ迅速な収入及び支払いのため、会計事務について職員への周知を図ります

4	適正な会計事務の周知徹底	達成度	
実 行 内 容			
目 標	法令・規則に基づく収入・支払事務等が適正に行われるよう、会計事務研修会を開催し、職員の会計事務能力の向上を図ります。 また、会計実地検査について、事業担当課と連絡調整を行い、円滑な受検体制を整えるとともに、会計事務の理解を深めるための助言・指導や全庁的な課題への注意喚起を適宜行います。 さらに、現金や金券等について、所属を対象に取扱状況調査、検査及び指導を行うことにより、適正な会計事務の周知徹底を図ります。		
取 組 内 容	○会計事務研修会の実施 ・7月26日 全所属主任等を対象に開催 101 所属 101 名参加 ・講師所属：出納課、財政課、施設活用推進室、契約課、監査事務局 ・重点事項：28 年度監査結果（指摘事項、全庁的課題等） ○円滑な受検体制の確立 ・課題研究プロジェクト会議において、受検マニュアル及び受検体制について横断的な検討を実施（6 月～：計 7 回） ・会計実地検査受検所属への意見聴取（1 月～2 月） ・会計実地検査事務処理要綱及び受検マニュアルの作成（3 月） ○適正な経理手順の周知・指導 ・職員からの質問に対し、適切に助言・指導（随時） ・審査等を通して、職員へ助言・指導（随時） ○現金等保管状況調査・実地検査 ・8 月～10 月 現金等保管状況調査・実地検査（検査対象：34 所属、2 小学校、2 保育園） ・H30.1 月 検査結果を各所属に通知 ・2 月 指導事項該当所属（12 所属）から改善結果報告書受理、改善状況を確認		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
会計事務研修 : 1 回		会計事務研修の実施 : 1 回	
上記研修に対する理解度 : 90%以上		上記研修に対する理解度 : 91.6%	
適正な経理手順の周知・指導 : 随時		適正な経理手順の周知・指導 : 随時	
現金保管状況調査・実地検査 : 1 回		現金等保管状況調査・実地検査の実施 : 1 回	
成 果 ・ 課 題	会計事務研修では、28 年度監査結果に重点を置くとともに、過去 5 年間の監査結果を繰り返し取り上げた結果、定期監査による指摘事項等は 21 件でした。今後も引き続き研修により会計事務に対する意識向上を高めていきます。 会計実地検査においては、新たに作成した会計実地検査事務処理要綱と受検マニュアルを職員インフォメーションに掲載し、4 月から運用を開始します。 現金等保管状況調査・実地検査では、注意、指導した点について改善されました。現金の適切な取扱いは、常にすべての所属で行われる必要があります。 今後とも、会計上の事故を未然に防止し、適正な会計事務を継続的に確保するため、会計事務研修や検査等を行うとともに、適宜職員インフォメーションで注意を喚起するなど、会計事務について職員への周知徹底を図ります。		